



旭中だより

学校 HP <https://asahi-j.sagamihara.andteacher.jp/>

令和8年 6月1日発行
令和8年度 第3号
相模原市立 旭 中学校

自主的から主体的へ

校長 辻野 宏

本校の教育目標は「目標に向かって主体的に実践し 思いやりのある旭中生」です。実は、この目標は平成28年までは「主体的」の部分が「自主的」となっていました。皆さんは、「自主的」と「主体的」にどのような違いがあるか知っていますか。

- | |
|---|
| <p>自主的:「やるべきこと」が決まっていて、それを人から言われる前に進んで行動する
(例:宿題や部屋の片付けを、先生や親に言われる前に自分で始める)</p> <p>主体的:「何をすべきか」を自分で判断し、責任を持って行動する
(例:今の自分には何が必要かを考え、自分で決めた勉強や行動をする)</p> |
|---|

どちらもよい行動ですが、「自主的」はあらかじめ用意された「地図の通りに歩く」ことであり、教育目標にある「主体的な実践」とは、目的地に向かって、そこまでのルートを自分で見つけたり、切り開いたりして進んでいく力のことです。

この目標を変えた当時の校長先生に変更の経緯をお聞きしたところ、それ以前の旭中学校は様々な事情により、どちらかという先生にリードしてもらった学校であったそうです。しかし、「この先の時代をよりよく生き抜いていくためには、生徒自身が考え、計画し、挑戦する学校に変えていく必要がある」という、当時の先生方の強い思いから目標が変更されました。今年は、変更してからちょうど節目となる10年目です。その当時の思いは着実に浸透し、生徒会活動や行事など、様々な場面で生徒の考えや意見が反映され、生徒の手による「主体的な実践」が数多く見られます。

では、ここからさらにもっと主体性を高めていくためには、何が必要なのでしょうか。様々なアプローチがありますが、私はその1つに「疑問を持つこと」があると考えています。ただ、勘違いしてほしくないのは、「やらない理由」を探すための疑問ではないということです。もっと前向きに、「なぜ、これをやるのか」「なぜ〇〇(生徒会、評議員、実行委員、先輩、先生)は、これを求めているのだろうか」と考えてみてください。こういった疑問から裏側にある「目的」を理解することができれば、「こうしたら、もっと良くなる」「それなら、これも一緒にやっておこう」といった、自分なりの工夫が生まれてくるはずです。

そして、最後に忘れてはいけないのは、目標の後半にある「思いやりのある旭中生」です。皆さんが主体的に考えたことは、独りよがりになっていませんか。誰かが一生懸命考えてくれたことに対して「なぜ?」と思ったときに、それをトゲのある言葉で否定していませんか。今の旭中生の素晴らしいところの1つは、「My Home」の精神から湧き出る「温かさ」です。「主体的な疑問」と「相手への思いやり」、この2つを合わせ持った旭中学校のさらなる進化を勝手ながら期待しています。

詳細は各学年から配付される予定表をご確認ください

6月の主な予定

- 1日(月)⑥全校道徳
3日(水)⑤生徒総会 放:専門委員会
4日(木)内科検診 1年3組~8組
7日(日)テスト前諸活動停止 (大会のある部については活動あり)
11日(木)定期テスト①(理科・美術・数学・技家・国語) あさひ学級買い物学習・調理実習
12日(金)定期テスト②(英語・保体・社会・音楽) あさひ学級スポーツレク 放:集団下校班編成
17日(水)3学年修学旅行荷物積み込み、前日 OT
18日(木)3学年修学旅行1日目
19日(金)3学年修学旅行2日目
20日(土)3学年修学旅行3日目
22日(月)3学年振替休日 1・2学年 火①~⑥
23日(火)月①~⑤、学活
24日(水)歯科検診Ⅳ 1年3組~8組 学校生活アンケート 生徒会全校評議会
26日(金)あさひ学級校外学習 (若あゆ)
29日(月)①ブロック結団式+月①~⑤
30日(火)3学年進路保護者会



悪天候時の登下校について

6月に入り梅雨の時期を迎える頃となりました。ここ数年、突然の雷や線状降水帯の発生、警報級の大雨等、事前の天気予報では予測できない気象となることがあります。学校では、相模原市教育委員会が作成した安全の手引きにより次の通り対応することを基本としていますが、登校時などに雷、風雨、河川の増水等、気象状況の急変により身の危険を感じた際には、ご家庭の判断でお子様を自宅に待機させ、安全を確認してから登校させてください。(その際は遅刻とはいたしません)また、下校時に雷が鳴っている場合につきましては、生徒は学校で待機し、雷雲の通過等を確認してから下校させます。

なお、6月1日から旭友祭体育部門が終了するまでは体育着登校としていますが、それ以外の期間でも大雨等の際にはご家庭の判断により体育着で登校することも可能です。(体育部門終了後など、標準服が必要な場合には標準服を持たせてください)

自然災害はいつやってくるかわかりません。主体的に判断し行動する力を育てたいと考えています。

大雨特別警報発令のタイミングと対応

- 登校前 登校させない(休校、登校時間の変更をスクリレで連絡)
登校中 各自の判断で今いる場所よりも安全な場所に避難する
在校中 学校に留め置く、下校時間を繰り上げる、保護者に引き渡す(対応をスクリレで連絡)
下校中 各自の判断で今いる場所よりも安全な場所に避難する

警報・注意報等発令のタイミングと対応

- 登校前 状況により登校を見合わせる(登校時間の変更をスクリレで連絡)
登校中 登校状況により校長が判断(各自の判断で安全を確保)
在校中 状況に応じて下校時間の繰り上げ、留め置き、引き渡しを検討しスクリレで連絡
下校中 下校状況により校長が判断(各自の判断で安全を確保)



学校安全の手引き(風水害・大雪災害編)【令和7年3月修正版より抜粋・加筆】